２．まちづくりの可能性

（１）２市４町

■将来像　　賑わいと交流にあふれた 10 万人都市

■まちづくりの可能性

①安心で思いやりのある健康都市

子どもから高齢者まで、すべての人々が安心していきいきと活躍できる地域づくりを推進する。

なかでも、子どもを産み育てやすい環境づくりや、高齢者や障害者が住み慣れた地域で必要なサービスを受けながら、家族や隣人と健康で安心して暮らすことのできるよう、保健・医療・福祉の総合的なサービス供給体制の充実を図る。

特に、コミュニティバス運行のネットワーク化などにより高齢者等の交通手段を確保し、新市内の交流を促進する。

また、地域医療機関の確保や救急医療などの医療サービス体制の拡充に努める。

さらに、防災計画の拡充や防災体制の強化、交通環境の整備などを図り、災害に強い、だれもが安心して暮らせる地域づくりを推進するとともに、地球環境への負荷を軽減するため、省資源化やリサイクルなどに努め、資源循環型社会の構築を図る。

②心豊かで出会いと発見のある教育・文化都市

水と緑に恵まれた自然や地域の歴史と文化に親しみ、職住の近接性を高める中で、住民ひとりがゆとりある時間とまちなみなどの空間を楽しみ、自然と都市が共生したゆとりと豊かさを実感できる魅力ある地域づくりを推進する。

また、生涯学習や生涯スポーツを積極的に推進するため、活動の拠点づくりを進めるとともに、いつでも、どこでも、だれもが生涯にわたり多様な学習やスポーツレクリエーション活動を楽しむことのできるサポート体制や人材育成の充実を図る。

さらに、豊かな人間性を育む学校教育の充実を図り、広い視野を育てる多面的な交流を進めるため、国際交流活動や地域間交流の推進を図る。

③快適で魅力ある生活都市

豊かな自然を生かしながら、鹿児島県の中核的な都市として発展していくため、拠点性の高い都市機能をもつ、住みやすく快適でにぎわいのある居住空間を整備するとともに、鹿児島市のベッドタウンとして利便性の高い交通運輸体系の充実を図る。

また、身近な地域コミュニティ機能、地域保健・医療・福祉機能、商業施設を集積した地域核の整備や生活道路、公園、上下水道の整備など定住環境の質的な向上を図る。

さらに、10万人都市として、財政基盤の強化による各種行政サービス機能の充実を図りながら、わかりやすく信頼される市政運営を展開するため、情報提供や情報公開、広報広聴機会の拡充を図るとともに、積極的な男女共同参画による住民参加を促進し、市民とのパートナーシップによる開かれたまちづくりを推進する。

④いきいきとして活力のある産業都市

将来にわたり、新市がいきいきと活力ある都市となるため、第１～３次産業に至るまで、現状における課題を踏まえつつ将来を展望しながら一層の振興をめざす。

特に、鹿児島市と九州北部を結ぶ中継地域として、情報・製造業等の企業育成・誘致と、多様な業種の民間企業等において交流が活発化することによる新たな業種・業態の転換や新規産業の立地促進する。

また、第１次産業は、生産者と地域が一体となって、後継者の育成や新規就労者の支援に努めるとともに、自然環境に配慮した生産基盤の整備や農林水産物の地域ブランド化、花卉栽培等、付加価値の高い農林漁業の振興を図る。

なお、生産基盤については川内港・串木野港等の港湾機能の更なる整備・活用を進め、一体となったポートセールスによる世界に広がるコンテナ航路や国内物流の活発化を図り、加えて、南九州西回り自動車道路の整備等による陸上運輸の円滑化により、人・物・情報等の交流を促進しながらの産業振興を図る。

⑤多彩でにぎわいのある交流都市

10万人都市として、経済、芸術、教育、文化の様々な面での交流人口の増加を視野に入れた広域交流型のまちづくりのを進める。

特に、九州新幹線や南九州西回り自動車道路による来訪者を対象に海岸線や多様な温泉資源を前面に出した観光（釣バカ列車・温泉サミット・温泉めぐり）振興や、運動施設の施設数・規模を活かした大会や合宿等のイベント誘致、物販施設等交流拠点のネットワーク化、共同イベントの開催、販売促進等による交流人口の増加を図る。

また、新市域内の連携をより一層充実するための国道、県道、圏域内外を結ぶ主要道路や、情報通信網の整備を促進することにより、交流基盤を強化し、地域相互が連携・補完し合うことで、効果的・相乗的な発展を実現する。

（２）２市４町４村

■将来像　　多彩な地域個性を融合した西薩摩の拠点都市

■まちづくりの可能性

①安心で思いやりのある健康都市

子どもから高齢者まで、すべての人々が安心していきいきと活躍できる地域づくりを推進する。

なかでも、高齢者や障害者が住み慣れた地域で必要なサービスを受けながら、家族や隣人と健康で安心して暮らすことのできるよう、保健・医療・福祉の総合的なサービス供給体制の充実を図る。

特に、海洋深層水を利用したタラソテラピーや森林浴等、健康をキーワードとする交流事業を進め、長期滞在しながら心身のリフレッシュを行うことができるアイランドテラピーを推進するとともに、高齢者等の交通手段を確保するため、コミュニティバス運行のネットワーク化などにより、新市内の交流を促進する。

また、地域医療機関の確保や救急医療などの医療サービス体制の拡充に努める。

さらに、防災計画の拡充や防災体制の強化、交通環境の整備などを図り、災害に強い、だれもが安心して暮らせる地域づくりを推進するとともに、地球環境への負荷を軽減するため、省資源化やリサイクルなどに努め、資源循環型社会の構築を図る。

②心豊かで出会いと発見のある教育・文化都市

海と水と緑に恵まれた自然や地域の歴史と文化に親しみ、職住の近接性を高める中で、住民ひとりがゆとりある時間とまちなみなどの空間を楽しみ、自然と都市が共生したゆとりと豊かさを実感できる魅力ある地域づくりを推進する。

また、生涯学習関連施設の充実や、いつでも、どこでも、だれもが生涯にわたり多様な学習やスポーツレクリエーション活動を楽しむことのできるサポート体制、人材バンクの整備および派遣制度の確立など、生涯学習推進体制の充実強化を図る。

さらに、豊かな人間性を育む学校教育の充実、広い視野を育てる多面的な交流を進めるため、国際交流活動や地域間交流の推進、各地域で受け継がれている伝統芸能等の保存継承を図る。

③快適で魅力ある生活都市

豊かな自然を生かしながら、鹿児島県の中核的な都市として発展していくため、拠点性の高い都市機能をもち、地域環境に応じた住みやすく快適でにぎわいのある居住空間を整備するとともに、鹿児島市のベッドタウンとして利便性の高い交通運輸体系の充実を図る。

また、身近な地域コミュニティ機能、地域保健・医療・福祉機能、商業施設を集積した地域核の整備や生活道路、公園、上下水道の整備など定住環境の質的な向上を図る。

さらに、10万人都市として財政基盤の強化による各種行政サービス機能の充実を図りながら、わかりやすく信頼される市政運営を展開するため、情報提供や情報公開、広報広聴機会の拡充を図るとともに、積極的な男女共同参画による住民参加を促進し、市民とのパートナーシップによる開かれたまちづくりを推進する。

④いきいきとして活力のある産業都市

将来にわたり、新市がいきいきと活力ある都市となるため、第１～３次産業に至るまで、現状における課題を踏まえつつ将来を展望しながら一層の振興をめざす。

特に、鹿児島市と九州北部を結ぶ中継地域として、情報・製造業等の企業育成・誘致と、多様な業種の民間企業等において交流が活発化することによる新たな業種・業態の転換や新規産業の立地を促進する。

また、第１次産業は、生産者と地域が一体となって、後継者の育成や新規就労者の支援に努めるとともに、自然環境に配慮した生産基盤の整備や農林水産物の地域ブランド化、花卉栽培等、付加価値の高い農林漁業の振興を図る。

加えて、本土とは異なる地域特性を持つ甑島と本土の連携を図ることにより、水産品等の高度利用や海洋深層水の事業化など新たな産業の振興に取り組むことができる。

なお、生産基盤については川内港・串木野港等の港湾機能の更なる整備・活用を進め、一体となったポートセールスによる世界に広がるコンテナ航路や国内物流の活発化を図り、加えて、南九州西回り自動車道路の整備等による陸上運輸の円滑化により、人・物・情報等の交流を促進しながらの産業振興を図る。

⑤多彩でにぎわいのある観光・交流都市

10 万人都市として、経済、芸術、教育、文化の様々な面での交流人口の増加を視野に入れた広域交流型のまちづくりを進める。

特に、甑島の美しい海岸線や豊富な海洋資源、多様な温泉資源を前面に出した観光メニュー（島巡りクルーズ・釣バカ列車・温泉サミット・温泉めぐり）の拡充や観光施設の整備、高速交通体系や航路等の交通基盤を活かすことによる滞在型保養観光都市としての推進、運動施設の施設数・規模を活かした大会や合宿等のイベント誘致、物販施設等交流拠点のネットワーク化、共同イベントの開催、販売促進等による交流人口の増加を図る。

また、新市域内の連携をより一層充実するための国道、県道、圏域内外を結ぶ主要道路や航路、情報通信網の整備を促進することにより、交流基盤を強化し、地域相互が連携・補完し合うことで、効果的・相乗的な発展を実現する。

（３）４村
■将来像　　海の恵みを生かして育む健康長寿の町
■　まちづくりの可能性

①　生活しやすい魅力あるまち
甑島内ならびに甑島と本土を結ぶ交通網の整備を促進し、日常生活の利便性や交流しやすい環境づくりを行うとともに、観光・交流人口の拡大による地域の活性化を図る。
住民の利便性の向上や地域の一体的振興等を図るため、国や県の支援を活用した藺牟田瀬戸架橋を含む甑島縦貫道の整備推進に努める。
また、本土と甑島の交通アクセスの向上を図るとともに、ヘリポートおよびアクセス道路の改良等による救急搬送体制の充実を図る。

②　豊かな海洋資源が多面的に活用されている海洋産業のまち
基幹産業である水産業を核に、新たな技術の導入等を推進しながら、海洋資源を多面的に活用した様々な産業の育成を図る。
水産加工施設の統合・近代化や拠点漁港における流通拠点施設の整備等、水産業の基盤整備に取り組むとともに、陸上養殖や外海養殖等の新たな水産業の導入を進め、高付加価値で安定した水産業の育成を図る。
また、水産加工施設の効率的な運営体制への移行ならびに新たな特産品開発を進めるとともに、海洋深層水を利用した水産品および水産加工品の高付加価値化や鹿児島市等へのアンテナショップ等の設置などを進め、甑島ブランドの育成を図る。
さらに、海洋深層水の水産業、食品加工等への利用促進や新規産業の立地促進を図るとともに、タラソテラピーへの活用や健康・観光分野等への活用を進める。あわせて、本土市町村等との連携を図りながら、海洋深層水の販路拡大を図る。

③　相互扶助の精神に支えられ安心して健康に暮らせる健康長寿のまち
豊かな自然環境や安全な生活環境の中で、住民が健康で安心して暮らせるとともに、訪問する人々がリフレッシュできる社会づくりを進める。
公共施設等を利用した地域の健康づくりの拠点機能を充実するとともに、健康づくりを進める地域保健体制の確立や介護予防事業の強化等を図る。
そして、診療所の情報化ならびにネットワークを構築するとともに、拠点診療所への高度医療機器の導入や入院施設の充実を図り、島内の医療体制を強化する。
また、社会福祉協議会の体制を強化するとともに、相互扶助の精神が根付いている風土を生かしながら、ボランティア活動を地域全体に広げるなど，ボランティアのまちづくりを推進する。
さらに、海洋深層水を利用したタラソテラピーや森林浴等、健康をキーワードとする交流事業を進め、長期滞在しながら心身のリフレッシュを行うことができるアイランドテラピーを推進する。

④　ふれあいのある観光・交流が活気を生み出す心暖まる交流のまち
豊富に存在する自然・文化資源等を活用した様々な観光・交流事業を進めることにより、幅広い世代の住民が域外の人々と交流する機会を拡充するとともに、地域の活性化を図る。
海岸線や景観をはじめとする豊かな海洋資源や四季を通じて花のある島づくりなど、甑島の持つ魅力を生かした新たな観光イメージの形成に向けたソフト事業の積極的な展開を図る。
また、ダイビング等のマリンスポーツの推進や海洋型の大型イベントの開催など、海洋資源を生かしたソフト事業の積極的な展開を図る。
甑島の特色ある留学制度の共同事業や相互交流を実施し、参加者の拡充を図るとともに、甑島出身の高校生等のために鹿児島市等に甑島寮を整備し、保護者負担の軽減を図る。
さらに、地域の自然環境や歴史文化資源を素材に、大学等との共同での生涯学習の実施やサマースクールの開催など、資源を生かした地域間交流の推進を図る。

３．合併に向けた場合の課題と協議事項

（１）共通

	課題	想定される 協議会での協議項目
Ⅰ	**行政サービス**	
1	手数料・使用料・保険料等が増大するのではないか。	地方税の取扱いについて 使用料・手数料の取扱いについて
2	保健・福祉サービスを日常的に利用しにくくならないか。	各種事務事業の取扱いについて • 保健衛生事業 • 障害者福祉事業 • 高齢者福祉事業 • 児童福祉事業 • 保育事業 • 生活保護事業 • その他福祉事業
3	保健・医療・福祉サービスの格差が生じるのではないか	
4	行政サービスの統一が難しくなるのではないか	使用料・手数料の取扱いについて 補助金交付金等の取扱いについて
5	市域が広がることでサービスが落ちないか	新市町村の事務所の位置 事務組織及び機構の取扱いについて
6	住民の声が届きにくくなるのではないか	
Ⅱ	**コミュニティ**	
1	地域として一体感が薄れるのではないか	公共的団体の取扱いについて 町名・字名の取扱いについて 各種事務事業の取扱いについて • 市町村学校等の通学区域 • 学校教育事業 • 文化振興事業 • コミュニティ施策 • 生涯学習事業
2	地区・校区の再編があるのではないか	
3	地域独自の文化が衰退しないか。	
4	小中学校、社会体育団体が統合されるのではないか。	
5	小さなコミュニティの存続が難しくなるのではないか。	
Ⅲ	**産業振興**	
1	経済団体との協力体制の再構築がうまくできるか。	公共的団体の取扱いについて 各種事務事業の取扱いについて • 農林水産業関係事業 • 商工観光関係事業
2	地域独自の補助制度の見直しにより、生産者の意欲が低下しないか。	補助金交付金等の取扱いについて
3	中心部への一極集中により周辺地域の経済が低迷しないか。	各種事務事業の取扱いについて • 農林水産業関係事業 • 商工観光関係事業
4	農業振興が衰退しないか	各種事務事業の取扱いについて • 農林水産業関係事業
Ⅳ	**行政運営**	
1	中心部だけが良くなって周辺部はさびれないか。	市町村まちづくり計画
2	周辺部での施設整備が進まなくならないか。	
3	公共施設の維持が難しくなり廃止が進むのでないか	
4	中心部の整備が優先され、周辺部における公共施設整備が先送りになるのではないか。	
5	合併特例期間が経過した後、地方交付税は減額されないか。	市町村まちづくり計画（財政計画）
6	事業の増大により、後年度の公債費が増大しないか。	
7	地域独自の定住促進制度の見直しにより、定住希望者が少なくならないか。	補助金交付金等の取扱いについて 市町村まちづくり計画（財政計画）

（２） ２市４町

	課題	想定される 協議会での協議項目
1	本庁舎の位置、支所・出張所の位置・機能についての調整。	新市町村の事務所の位置 事務組織及び機構の取扱いについて
2	一部事務組合の取扱いについての調整。	一部事務組合の取扱いについて
3	民間団体等の統合について	公共的団体の取扱いについて
4	国県出先機関の地域体制の調整。	−

（３） ２市４町４村

	課題	想定される 協議会での協議項目
1	本庁舎の位置、支所・出張所の位置・機能についての調整。	新市町村の事務所の位置 事務組織及び機構の取扱いについて
2	一部事務組合の取扱についての調整。	一部事務組合の取扱いについて
3	民間団体等の統合について	公共的団体の取扱いについて
4	国県出先機関の地域体制の調整。	−
5	甑島とのアクセスについて	市町村まちづくり計画
6	甑4村間の交通基盤について	

（４） ４村

	課題	想定される 協議会での協議項目
1	本庁舎の位置、支所・出張所の位置・機能についての調整。	新市町村の事務所の位置 事務組織及び機構の取扱いについて
2	一部事務組合の取扱についての調整。	一部事務組合の取扱いについて
3	民間団体等の統合について	公共的団体の取扱いについて
4	国県出先機関の地域体制の調整。	−
5	甑島とのアクセスについて	市町村まちづくり計画
6	甑4村間の交通基盤について	